

# 小松市行造林における ゾーニングの検討について

南加賀指導区

# 発表の概要

- ①小松市行造林について
- ②森林ゾーニング支援ツール「もりぞん」について
- ③資源解析データの活用について
- ④まとめ（今後のゾーニングについて）

# ①小松市行造林

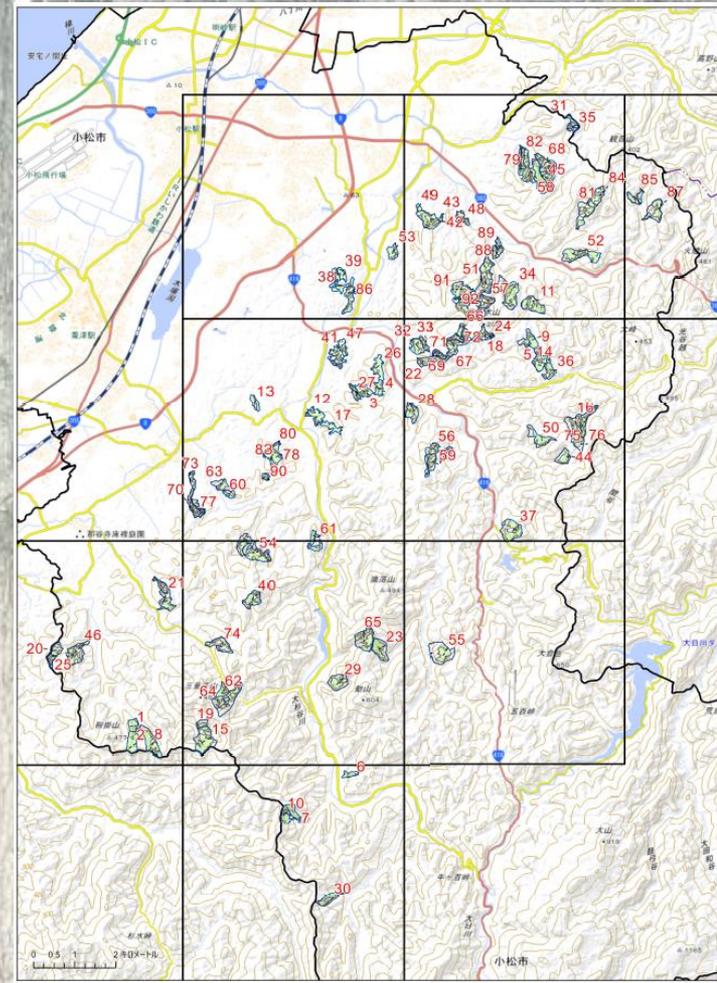
契約期間：昭和52年～平成13年

団地数：93団地

植栽面積：576.40ha

契約期間：50年間

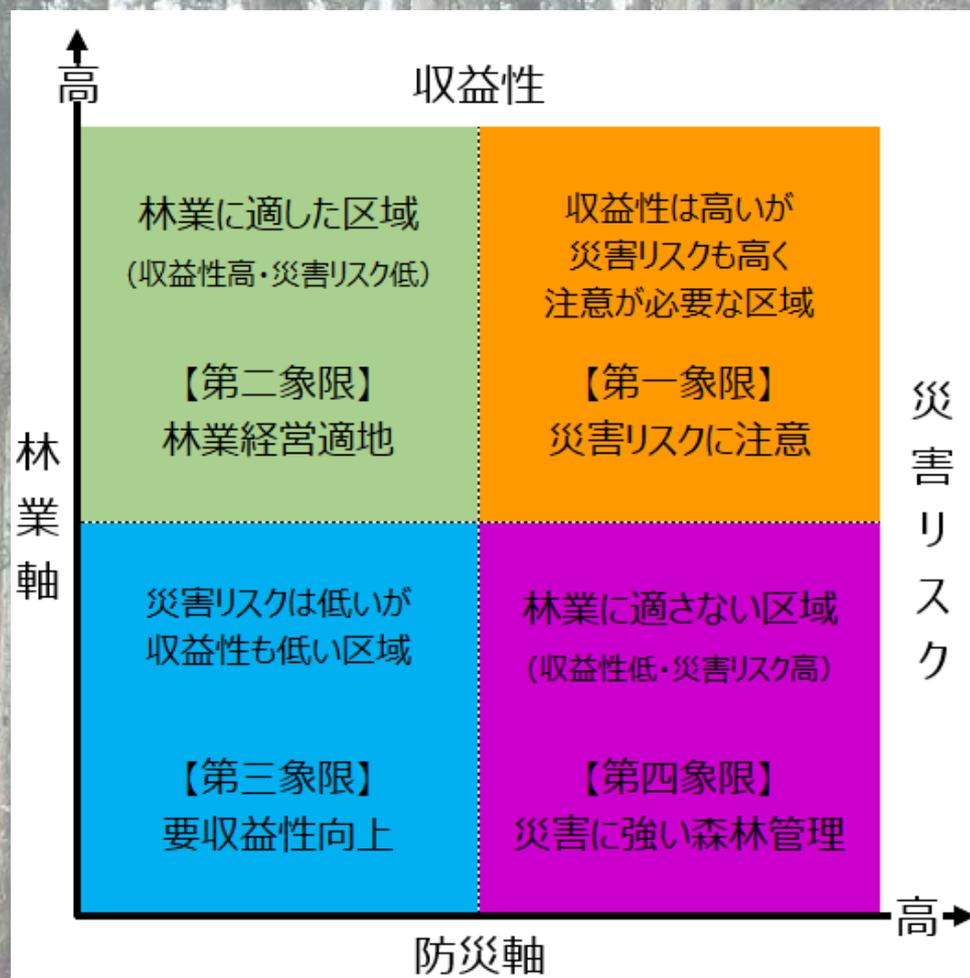
令和9年から契約満了を迎えるにあたり、対応の検討が急務



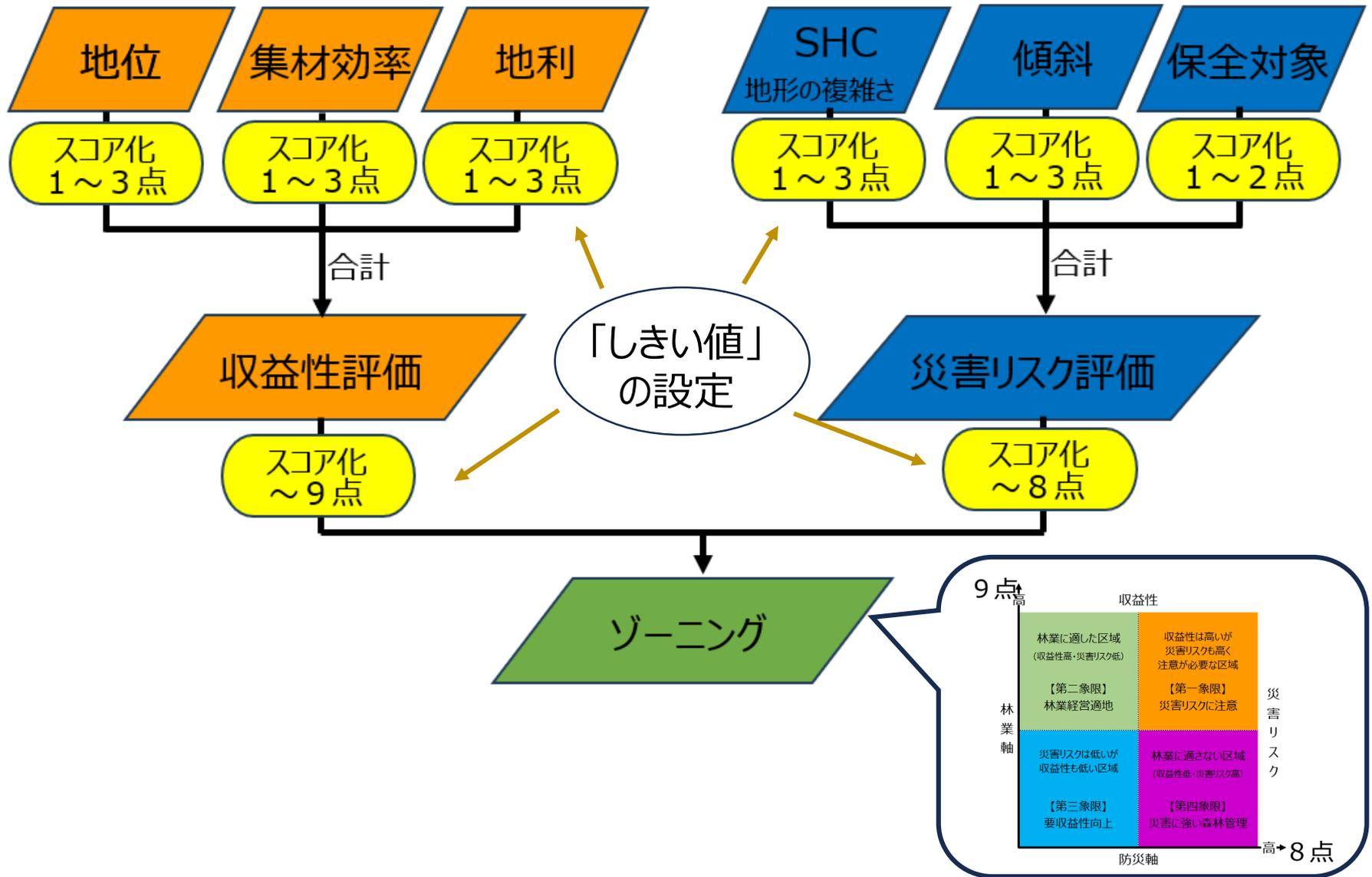
## ②森林ゾーニング支援ツール「もりぞん」

### 概要

- ・QGISのプラグイン
- ・令和6年に林野庁が提供開始
- ・収益性と災害リスクを数値化し4象限の考え方に基づいてゾーニング
- ・データの解像度により詳細なものから広域なものまで様々なゾーニング可能



## ②森林ゾーニング支援ツール「もりぞん」

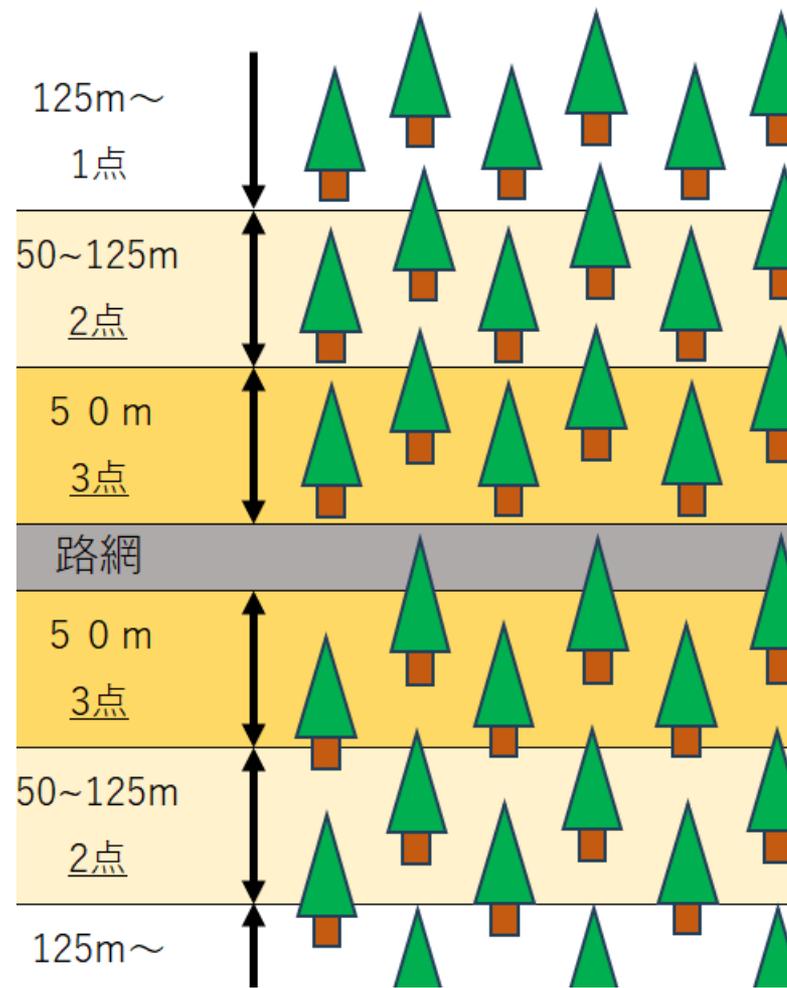


## ②森林ゾーニング支援ツール「もりぞん」

○地利の評価について  
(地利：集材コスト)

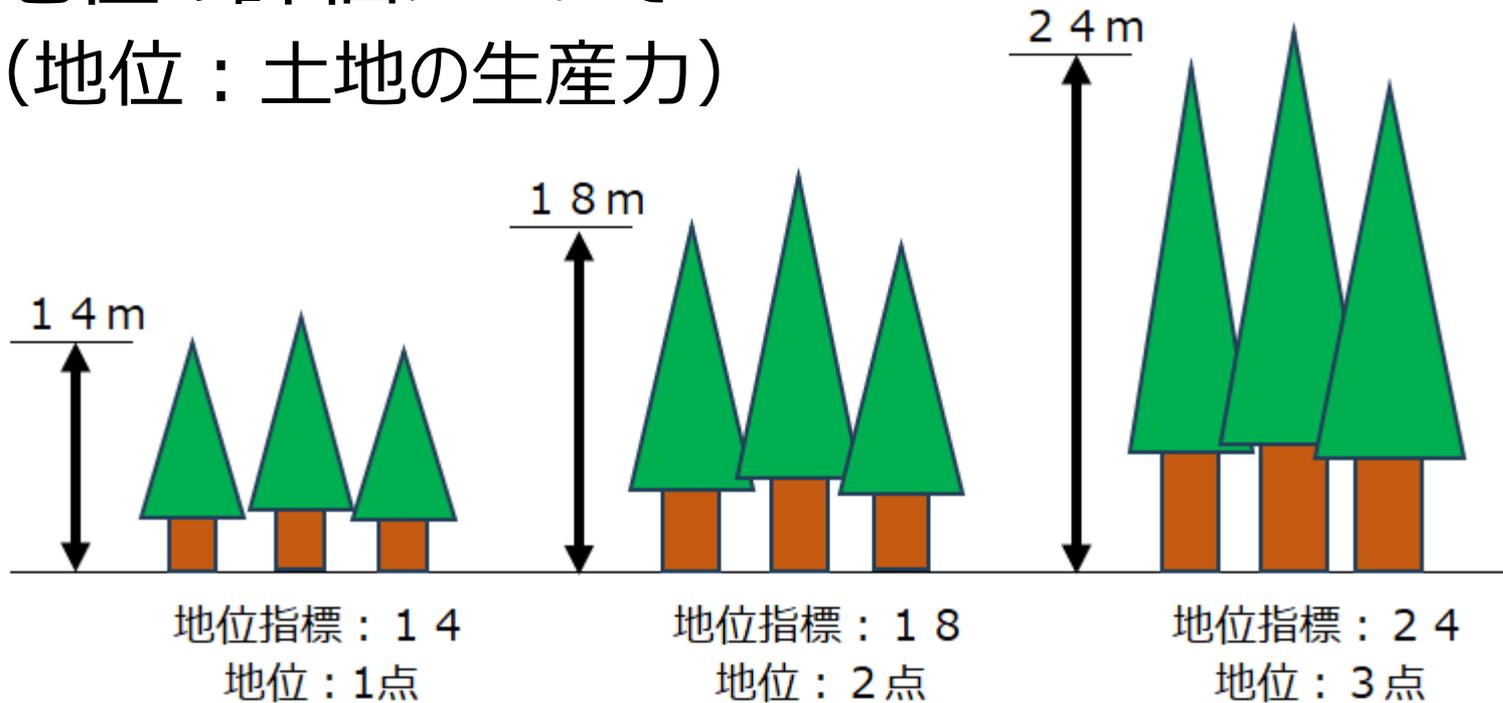
路網からの水平距離をもとに  
算定

～50m : 3点  
50～125m : 2点  
125m～ : 1点



## ②森林ゾーニング支援ツール「もりぞん」

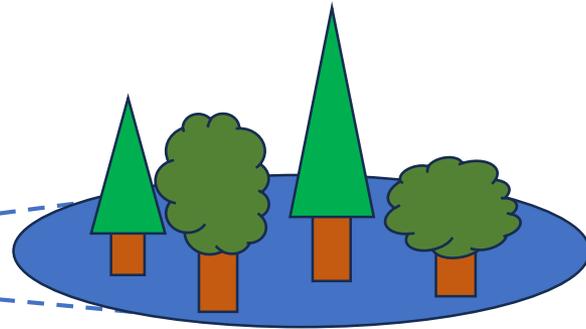
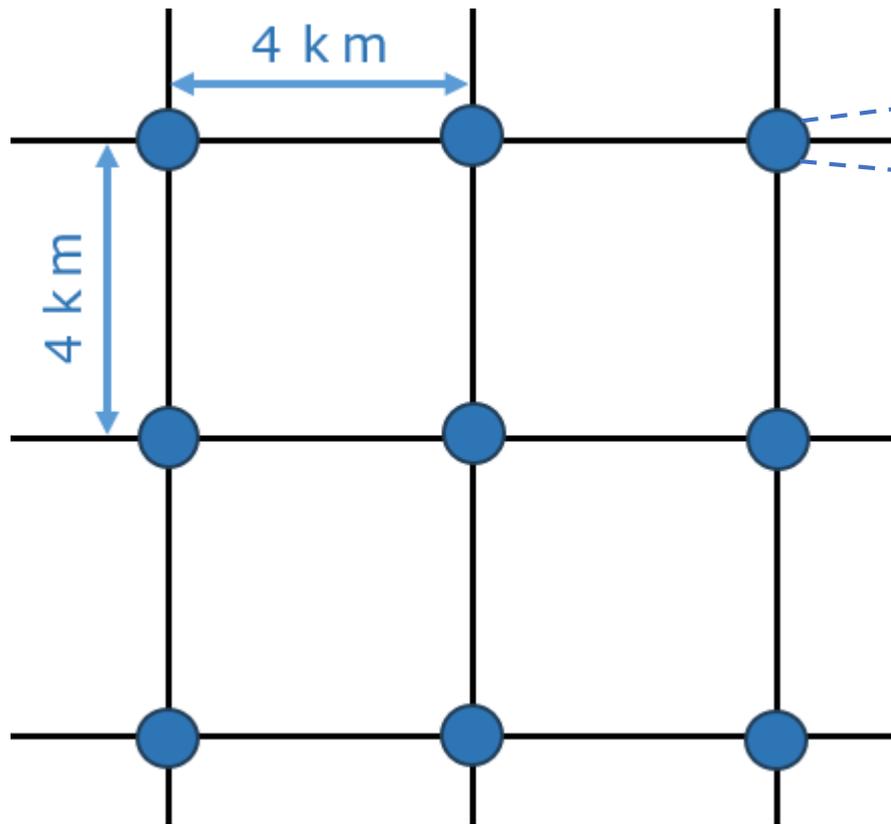
○地位の評価について  
(地位：土地の生産力)



地位指数 (スギ・ヒノキ) : 40年生時の上層木平均樹高

## ②森林ゾーニング支援ツール「もりぞん」

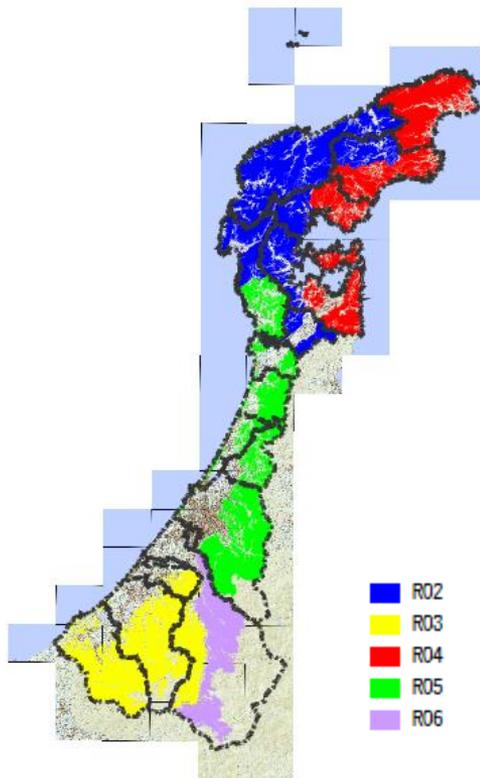
### ○地位の評価について



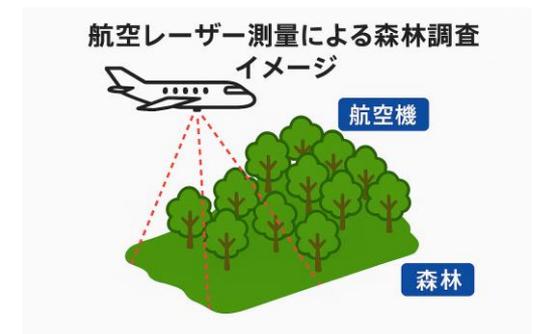
- 4 kmメッシュの交点
- 樹種、樹高、胸高直径等を調査
- 全国約15,000箇所
- 石川県内195箇所

# ③資源解析データの活用について

## ○地位の評価について



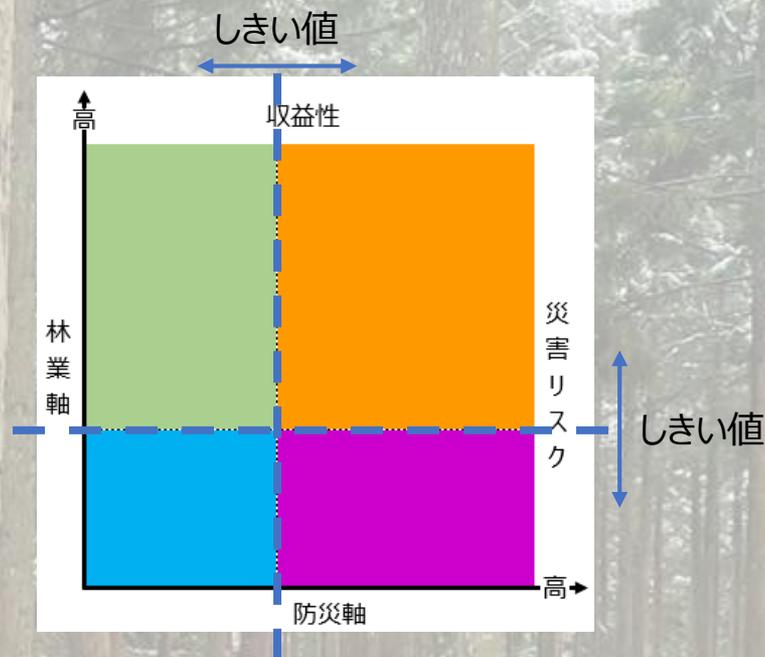
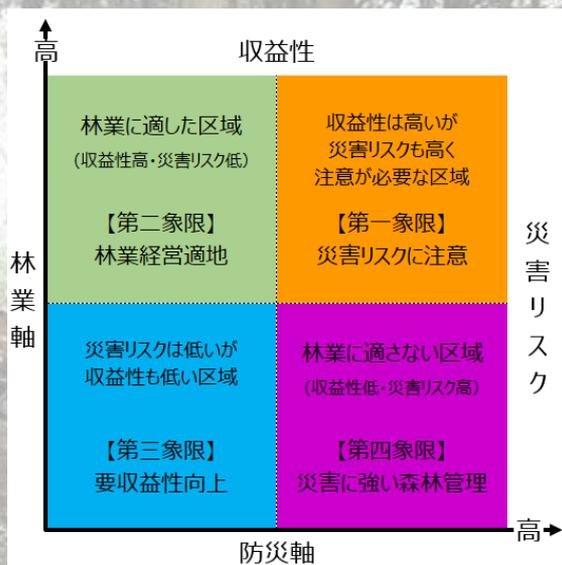
- 単木単位で樹種、樹高を把握  
→ 実態を反映
- 別樹種や近接林も含まれる可能性  
→ 精度のばらつきあり
- 県営林での使用実績あり  
→ 大きな問題なし



### ③ 資源解析データの活用について

- 地位の設定
- 団地ごとの収支の試算
- 地位と収支に相関が見受けられない

## ④まとめ (ゾーニングの課題)



- 四象限の「しきい値」を検討
- 第一、三象限の取り扱いを検討

## ④まとめ（全体）

1. 「もりぞん」の活用には工夫が必要
2. 収支には補助金など外的要素の影響大
3. 経済林・環境林にゾーニングするのは難しい
4. ゾーニングにより森林整備への理解が促進